

3 「文化福島」の発行

県教育委員会の委託を受けて、昭和45年9月開館と同時に「福島県文化センター月報」として創刊された。その後、改称と数度の改変を経て59年4月号より現行の体裁（B5判20ページ）となり、平成9年4月号より500部増の3,500部発行となった。平成11年3月号で通巻327号を数え、公立文化施設がみずから取材し、編集・発行する「文化情報誌」として独自のスタイルを確立している。

平成10年5月号から、「わたしのふるさと」（9ページ・156回）に代わって「21世紀に伝える、ふくしま《こころとかたち》」をスタートさせ、連載中の「ふくしまの植物たち」（8ページ）の写真をカラー化した。

「21世紀に伝える、ふくしま《こころとかたち》」は、時代の大きな転換点にあたり、私たちの足元をもう一度見つめ直して、新しい世紀に受け継ぐべきものは何かを考える企画。山や湖沼などがつくりだす自然景観、古くから伝えられてきた風俗習慣など、本県には誇るべきものが数多くある。各界

で活躍されている方々に執筆を願い、さまざまな視点から新世紀へ受け継ぐべきものを提言していただく。

編集方針：本県の歴史と文化に関する話題と情報を収集し、広く県民に提供する。

発行部数：3,500部

内 容：各地・各分野で活躍している本県ゆかりの文化人への依頼記事＝「随想」「地域文化を考える」「ふくしまの植物たち」「21世紀に伝える、ふくしま《こころとかたち》」「文化活動の現場から」など。

取材記事＝「今月の人」「トピック」「手仕事ふるさと」など。

情報提供記事＝「文化情報」「文化日誌」など。

配布先：県内の90市町村・教育委員会・小中高校・大学・文化施設・文化団体・報道機関、文化庁・国立国会図書館など県外の主要な文化機関・団体など。残部がある場合には、個人の希望者にも無償で配布している。

4 埋蔵文化財調査事業

(1) 分布調査事業

事業名	事業内容	事業場所	調査期間	調査面積(m ²)	事業成果
福島県内遺跡分布調査	常磐自動車道遺跡分布調査	広野町・榎葉町 富岡町	4/21～6/16 10/6～11/5	143,110	試掘調査 31遺跡
		原町市・鹿島町 相馬市・新地町	11/3～3/12	875ha	表面調査 76遺跡
	福島空港公園遺跡分布調査	須賀川市・玉川村	5/20～5/22 12/1～12/18	36,975	試掘調査 6遺跡
	高規格道路遺跡分布調査(あぶくま南道路)	矢吹町・小野町	5/7～5/28	45,220	試掘調査 3遺跡
	東北中央自動車道遺跡分布調査	福島市	11/4～11/25	332ha	表面調査 7遺跡
	文化財センター白河館(仮称)遺跡分布調査	白河市	9/28～10/9	30,000	表面調査 1遺跡

(2) 発掘調査事業

事業名	遺跡名	所在地	主な検出遺構と出土遺物	調査期間	調査面積(m ²)
常磐自動車道遺跡発掘調査	山口	いわき市	竪穴住居跡1 竪穴状遺構1 ピット465 縄文土器 銭貨 陶磁器	4/20～6/30	3,400
	山ノ内B	いわき市	竪穴遺構1 掘立柱建物跡4 土坑62 縄文土器 陶磁器 銭貨	4/20～9/30	2,300
	寺之作	いわき市	須恵器	4/13～7/1	2,400
	高倉城跡	広野町	平場2 空堀1 縄文土器 石製品	6/15～10/28	3,050
	金波	いわき市	竪穴住居跡2 須恵器 土師器	6/29～10/2	2,200
	下小塙上ノ原	榎葉町	竪穴住居跡19 掘立柱建物跡2 土坑65 塚1 弥生土器 土師器 須恵器 銭貨	7/7～11/26	10,000
	鍛冶屋	榎葉町	竪穴住居跡75 掘立柱建物跡26 構列4 土坑86 鍛冶遺構4 土師器 須恵器 縄文土器 精錬鍛冶滓	7/6～12/4	9,800